



日本共産党 市川市議会議員

ひろたのりこ

廣田徳子



ひまわり通信

日本共産党控室

市川市八幡1-1-1

334-1111 (4592)

塩焼2-2-1-311

397-7836 (夜間)



# 東日本大震災は終わっていない

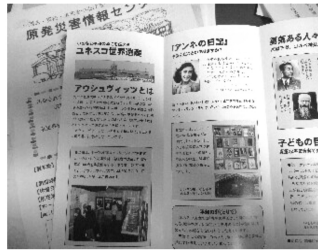
私の元職場の「9条の会」の主催で、発足10周年を記念して「平和ツアー」が行われ、参加しました。

総勢34名が和気あいあいと東京駅からバスに乗り込み、一つ目の見学地、

白河の『アウシュヴィツツ平和博物館・

原発災害情報センター』に向かいました。

アウシュヴィツツとは、第二次世界大戦時にナチスドイツが占領地ポーランドに建設した最大級の強制収容所で「人類が二度と繰り返してはならない負の世界遺産」としてユネスコ世界遺産に登録されているものです。そこから提供された資料や遺品などが展示されていました。



## いわき市民訴訟

いわきの宿泊施設で、「原発事故の完全賠償をさせる会」の原告団長の伊東達也氏の話をお聞きしました。

822名のいわき市民が国と東京電力に損害賠償を求めているものです。「福島原発はチリ津波級の津波に襲われれば、原子炉内の破壊熱を除去するための機械冷却系が機能せず、最悪の状態が発生するので抜本的な対策をとるべきだ」と10年以上も前から東電と国に求め続けていました。伊東さんは「今回の事故は聞く耳を持たず放置したた



富岡駅の建立者不明の慰霊碑

めに起きた人災です」と断言しています。とりわけ将来のある子どもたちへの公的支援策を確立し、安心して暮らせる福島を求めています。また、お寺の住職によると、町の人が将来福島には住まないの、お墓の移転の相談が相次ぎ、お寺の存続も危ぶまれているとのことでした。

## 営業損害賠償の打ち切り

政府と東電は突然営業損害賠償を2016年2月で打ち切ると発表しました。100床ほどある病院では再開をめざし、職員も退職させることなくこれまで頑張ってきたが、これ以上は無理と力尽きたとのことでした。

## 6号線で小学生が清掃ボランティア

国道6号線は放射線量も高く車の通行は解禁になりましたが、バイクや走行中

窓を開けることは今でも禁止されています。そこで小学生が日曜日にゴミ拾いのボランティアをしていと言います。安全をアピールしたいのか目的は定かではありませんが、親御さんの中には様々な意見が飛び交っているようです。今回のツアーに参加して、マスコミもほとんど取り上げない今だからこそ、出かけていき直接話を聞き、私たちが発信者にならないかと思いました。

## ひとりごと…今回

元職場の方々と一緒に福島を訪ねることができ大変良かったと思います。30数年ぶりの再会もあり、またこの間の「戦争法」の取り組みにはみなさんそれぞれ国会前行動や地域の中で大活躍されたお話を聞くこともでき、怒りの中でそれぞれの活動を励まし合い、ともに頑張ることを誓い合いました。